

あぶたん つうしん 194号



発行日 令和2年2月21日

発行 国土交通省 東北地方整備局
仙台河川国道事務所 岩沼出張所

〒989-2441 岩沼市館下1丁目2番9号
阿武隈川改修 100年 SINCE 1919
TEL:0223-22-2801
FAX:0223-22-2802

～地域の安全を守るために～

水門等水位観測員講習会

2月18日(火)に、岩沼市民会館において水門等水位観測員講習会が行われました。講習会では、洪水時の対応、ゲート操作の注意点 や施設点検のポイントなどを再確認していただきました。また、昨今の気象状況は想定できないような降雨をもたらしていることから、水位観測員の方々の防災意識向上を図り、日頃の点検時における注意点の確認や意見交換なども行われました。



操作員さんのお仕事

岩沼出張所管内には樋門樋管、水門が7施設あります。

各施設に2人ずつ、12人の観測員さんがいます。いざという時に備えて、毎月施設が正常に動作するか点検をしたり、樋門周辺の草刈りなど施設の管理を行っています。

大雨で阿武隈川が増水する時は、樋門に向かい、川の水が宅地側へ流れ込んでいないか確認をします。30分ごとに堤防の両側(川側と宅地側)の水位を観測して出張所に状況を連絡し、樋門の扉(ゲート)を閉めたり開けたり操作を行います。

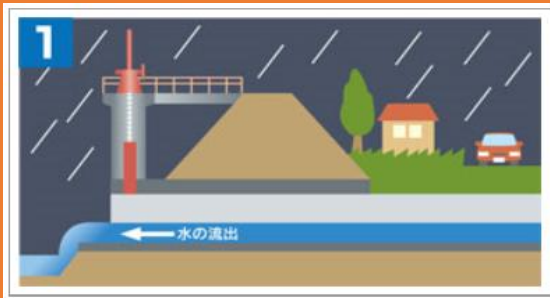
阿武隈川の水位が下がるまで長時間に及ぶ仕事です。

昼夜を問わず、激しい雨の中でも、二人で協力して樋門のゲート操作や水位観測を行い、地域に暮らす人たちの生活を水害から守ってくれる重要な仕事です。

施設点検状況



【排水樋門の役割】



平常時や川の水位が低いときは、排水樋門の扉は開いており、生活排水や雨水を川に流しています。



樋門の扉を閉めると、住宅側の水の行き場所がなくなり、住宅地が浸水する(内水被害)場合があります。そのため、内水被害が発生する場所には排水機場を設置したり、排水ポンプ車で排水するなどの対策を講じています。



洪水により川の水位が高くなると、川の水が樋門を通して住宅側流れ込み(逆流)、浸水被害が発生するため、樋門の扉を閉めます。



川の水位が低くなり、住宅側への逆流の心配がなくなったら、樋門の扉を開け、住宅側に貯まった水を川に流します。

～実施報告～

阿武隈大堰右岸上流で発見された船・車両を河川管理上(大堰のゲート操作の妨げにならない為など)支障にならないよう引き上げ作業を行いました。

日時：令和2年2月7日(金)
 場所：阿武隈川右岸10.4k付近(阿武隈大堰上流)
 作業内容：オイルフェンスを設置し重機(クレーン)で引き上げ
 引き上げ状況：
 ●船舶
 FRP船、腐食し壊れている。船舶番号等不明。所有者不明。
 ●車両
 車種不明、ナンバー無し。軽自動車と思われる。
 遺体無し。腐食により車体番号の識別不能。

作業状況(船舶引き上げ)



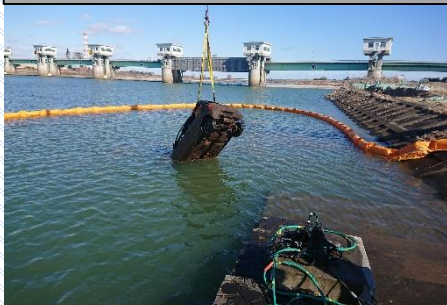
引き上げた船舶



引き上げた船舶



作業状況(車両引き上げ)



引き上げた車両



引き上げた車両

